

学位論文の審査基準(博士前期課程)

学位論文の評価は、提出された学位論文と最終論文発表会（2 年次の 2 月実施，10 月入学者は 8 月実施）に基づいて行う。学位論文及び最終試験の可否判定は、以下の評価基準に則り総合的に判定する。

- (1) 当該研究領域における修士としての十分な専門知識を修得しているか。
- (2) 提出された論文は、申請された研究テーマに対して、研究の背景，研究の位置付け，研究目的等が明確に述べられており，工学的な見地から妥当な内容となっているか。
- (3) 論文の記述（本文，図，表，引用，文献表など）が十分かつ適切であり，結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- (4) 設定された研究テーマに対して，適切な研究方法，調査・実験方法，あるいは具体的な解決手段等が提示され，かつ，研究結果に対して具体的な分析・考察が為されているか。
- (5) 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て，独自の価値を有するものとなっているか。
- (6) 外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては，その文献読解や調査研究に必要となる外国語能力が，十分なレベルに達しているか。
- (7) 研究成果について，学術論文誌，研究会，国際会議，特許，建築設計書の意匠等，あるいは，研究室や講座が主催する公開の研究会等の場で公表しているか。
- (8) 最終論文発表において，研究の背景，研究目的，研究方法，結果，考察が適切に発表できたか。
- (9) 質問された内容について適切に答えられたか。
- (10) 論文審査委員や最終論文発表会の場で指摘された事項に対して論文が適切に修正されているか。

○学位論文の審査基準(博士後期課程)

学位論文の評価は、提出された学位論文と学位論文公聴会に基づいておこなう。学位論文および学力試験の合否は、以下の評価基準に則り総合的に判定する。

- 1) 当該研究領域における博士としての十分な基礎力および専門的知識を修得していること。
- 2) 提出された学位論文は、申請された研究テーマに対して、研究の背景、研究の位置付け、研究目的等が明確に述べられており、工学的な見地から妥当な内容となっていること。
- 3) 論文の記述（本文、図、表、引用文献など）が十分かつ適切であり、序論から結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっていること。
- 4) 設定された研究テーマに対して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは具体的な解決手段等が提示され、かつ、研究結果に対して具体的な分析・考察がなされていること。
- 5) 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、独自の価値を有するものとなっていること。
- 6) 外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては、その文献読解や調査研究に必要な外国語能力が、十分なレベルに達していること。
- 7) 原則として、査読付きの学術論文1編以上（国内・国際学会等のプロシーディングスを除く）の関連論文の掲載が決定しており、それ以上の論文数については各専攻が指定した基準を満たしていること。
- 8) 公聴会において、研究の背景、目的、方法、結果、考察が適切に発表できていること。また、質問された内容について適切に答えられていること。
- 9) 学位論文審査委員会の場で指摘された事項に関して論文が適切に修正されていること。